

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 37

文・写真◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、ついにあと51日。
開催国の南アでの観戦を予定している人は、
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

●「開幕2カ月を切った街の様子」●



▲中年男性リーグに参加している日本代表の面々。サッカーで交流を図るも成績は今ひとつ！



▲日本が試合するダーバンの北200キロにあるイシマンガリン湿地公園にて。ワニ注意の看板

始まった。筆者が所属するサムライフルーは全員日本人のチーム。ヨハネスブルグの中年男性主体のリーグに加入しているが、例年、勝ち星には恵まれていない。練習不足どころか練習嫌い、酒やタバコは飲み放題の不摂生、これで標高1600メートルの高地でサッカーをするのだ。よく倒れないなと感心するのだが、高地順化とはそういうものらしい。

ワールドカップまで2カ月を切った。すべてのスタジアムは完成しているし、ピッチの状況も良さそう。試合は滞りなく行なわれるだろう。ただ、観客の交通手段については不安が残る。開催日までに改善されるか予断を許さない。当地の各国大使館は、サポーターが無事に観戦できるように、組織委員会と折衝を繰り返している。日本大使館もサポーター支援体制づくりに全力を挙げて取り組んでいる。予選3試合だけではなく、決勝トーナメントも含めてだ。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html